



各 位

2019年10月4日

会 社 名 株式会社吉野家ホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 河村 泰貴  
コ ー ド 番 号 9861 東証 第1部  
問 合 せ 先 グループ財務経理本部長 鶴澤武雄  
( TEL 03-5651-8800 )

2020年2月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年4月11日に公表しました2020年2月期第2四半期（2019年3月1日～2019年8月31日）の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年2月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2019年3月1日～2019年8月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 103,000	百万円 300	百万円 550	百万円 50	円 銭 0.77
今回修正予想（B）	107,066	2,936	3,023	1,879	29.10
増 減 額 （ B－ A ）	4,066	2,636	2,473	1,829	
増 減 率 （ % ）	4.0	878.9	449.7	-	
（参考）前期第2四半期実績 （2019年2月期第2四半期）	100,339	55	332	△850	△13.18

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間においては、売上高は吉野家が牽引し、前回の予想を40億66百万円上回る見込みです。主因としては、吉野家において創業120周年施策として販売した、牛丼の新サイズ「超特盛」「小盛」、コラボ商品「ライザップ牛サラダ」、希少なサーロインを使用した「特撰すきやき重」がテレビ・メディアで大きく取り上げられたことにより販売数が伸長したことに加え、6月に実施した「テイクアウト80円引き」などの販売施策も計画を上回り、既存店売上高が前期と比較し106.9%と好調に推移したことによるものであります。損益面につきましては、吉野家の増収などにより、営業利益は前回予想を26億36百万円上回る29億36百万円、経常利益は前回予想を24億73百万円上回る30億23百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を18億29百万円上回る18億79百万円と、当初予想を大幅に超過する見込みとなりました。

なお、通期連結業績については、国内外の政治経済環境の業績に及ぼす様々な影響が想定され、上期の好業績はあるものの予断を許さない状況であります。国内においては10月に行われた消費増税・軽減税率の導入、海外においては米中貿易摩擦や展開地域における地政学的リスク増大などの影響や、日米貿易協定による原材料価格等々の業績動向の不透明感が増大しており、それらを踏まえて、通期連結業績予想については現時点では、前回発表数値の修正は行わないことといたしております。これらの与件等々が業績に与える影響を見極め次第、修正が必要と判断した場合は改めて開示する予定です。

以上